

# 続・ふるさと こぼれ話

## 大鳥家の銅製鰐口

芳志戸の大鳥三郎家に  
栃木県指定有形文化財の  
銅製鰐口がある。この銅  
製鰐口は、大鳥家の屋敷  
にある熊野神社にかかげ  
られていたもので、表面  
に「敬白奉懸熊野三所権  
現鰐口下州宇都宮東真壁  
芳土土手樋越」裏面に  
「嘉慶二年戊辰八月十八  
施主妙円尼敬白」と文字  
が刻まれている。嘉慶2  
年は、南北朝時代の北朝  
の年号で西暦1388年  
であり、熊野三所権現と  
は現在の熊野本宮大社、  
熊野那智大社、熊野新宮  
大社の三社をさした神仏  
習合時代の名前である。

代には熊野神と阿弥陀仏  
が習合し極楽浄土の地と  
して信仰されるようにな  
り、以後熊野三所は、上  
皇をはじめ多くの人の参  
詣する所となった。  
熊野三所は、各地に信  
仰を広げるため多様な手  
段を講じたが、その一つ  
に熊野比丘尼の活動があ  
る。熊野比丘尼とは、熊野  
三所の信仰を広めるため  
に各地を旅した女性の宗  
教者である。銅製鰐口の  
奉納者である「妙円尼」と  
はいったい何者であつた  
ろうか。はるばる熊野の  
地からやってきた熊野比  
丘尼だったのであろうか。  
ところで、芳賀地方に  
おける熊野信仰の流布を  
伝える資料に、応永22(1

### 第43回

生涯学習課総合情報館推進係  
☎028(677)2525



415)年の「重讀檀那  
職売券」、文安5(144  
8)年の真岡市飯貝熊野  
神社の「大般若経」、享徳  
元(1452)年の「法印  
宗俊廻文」などがあり、  
いずれも西暦1400年  
代のものである。これら  
と比べても大鳥家の銅製  
鰐口は、芳賀地方で最も  
古い熊野信仰を知る資料  
であり、芳賀地方におけ  
る熊野信仰の流布を知る  
上で欠かせない貴重な資  
料であることがわかる。

### 編集後記

運動会と言えば、青い空と元気な子  
どもたち。そんなイメージがあり、暑  
いけど清々しい空間を想像します。  
今年の小中学校の運動会は、そのイ  
メージどおりの天候で、青い空に白い  
雲が流れ、子どもたちの元気な声が響  
き渡っていました。  
出番のないお父さんたちは、かつて  
の級友と思ひ出話を花を咲かせ、お茶  
を飲みながらの同級会？状態。ゆっく  
りと時間が過ぎ、たまには、こんな  
もアリかな...と。  
一生懸命な子どもとは対照的な存在  
ですが、日焼けだけは負けませんでした。  
た。意外なほど黒くなった日でした。

(ネタ)



L=15cm  
Dendrocopos Kizuki  
(キズツキという名前のキツツキ類)

小啄木鳥と和名で書くが、生物の学名は属名と  
種小名で構成されていてラテン語ないし、ラテン  
語化された各言語が使われるが、このキツツキの  
種名のKizukiは命名者のテミンクが日本名のキツ  
ツキをキズツキと誤って命名したのである。

このキツツキは、世界最小で日本でしか見られ  
ないところがすばらしい。

平地の雑木林で、冬期はシジュウカラやエナガと  
混群を形成して一緒に行動する。良く観察すると、コ  
ゲラは樹木の中間部から末端部の樹幹にかけて、シ  
ジュウカラは地上から下部の枝、エナガは最上部の  
枝と棲み分けして採餌するから一緒に行動が出来る  
のである。

スズメくらいの大きさで、後頭部から背中中は褐色で  
背中に白い縞模様が入っている。腹部は汚白色で脇  
に褐色縦斑がある。ギーツ・ギーツと鳴く。

■編集 芳賀町広報聴覚委員会  
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp  
■発行 芳賀町企画課  
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地  
■芳賀町ホームページアドレス  
http://www.town.haga.tochigi.jp

☎芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

